

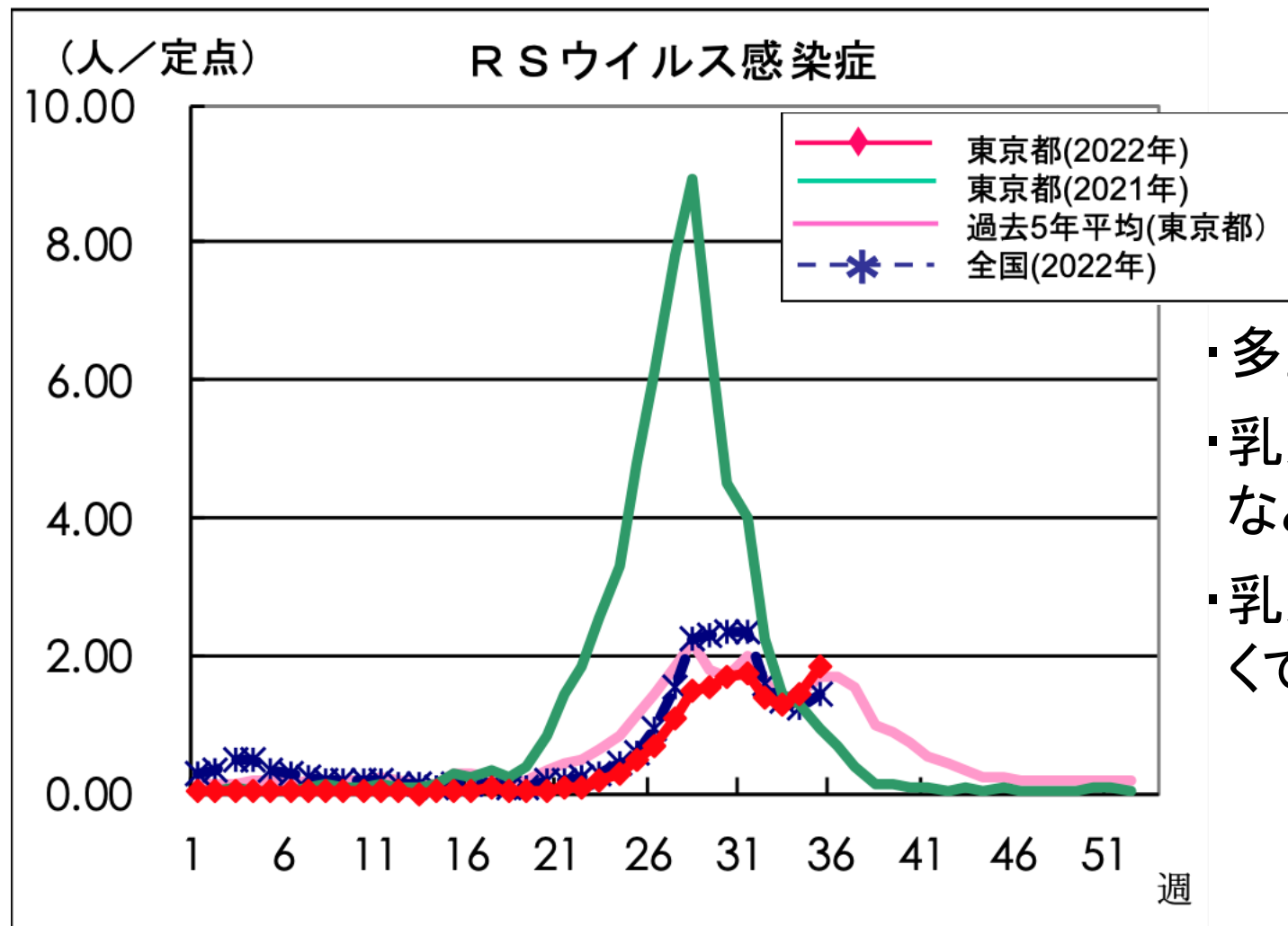
2022年9月13日
東京都医師会 定例記者会見

**新型コロナ以外の感染症に
ご注意ください！**

東京都医師会 理事
川上 一恵

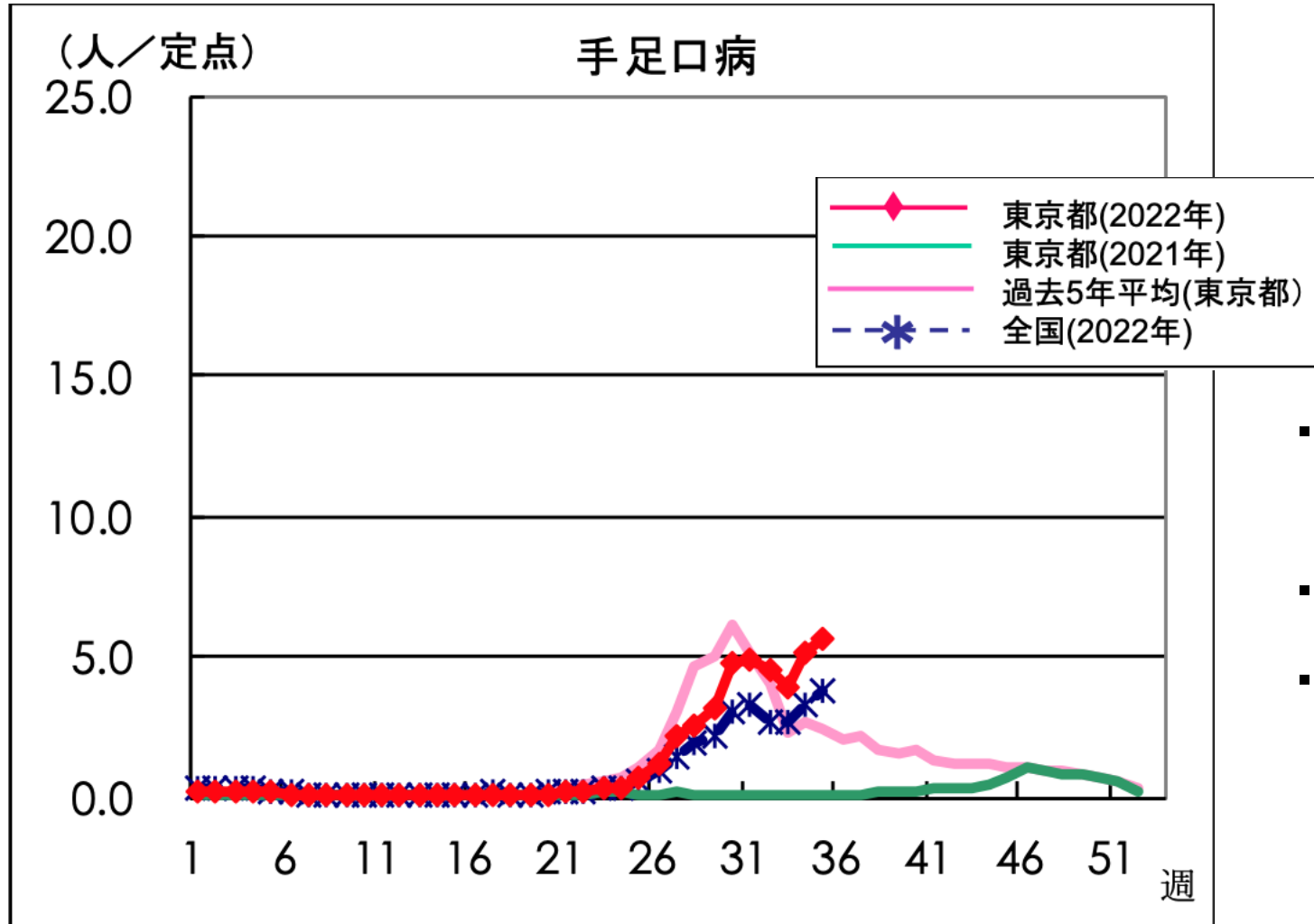
RSウイルス感染症

2022年35週現在



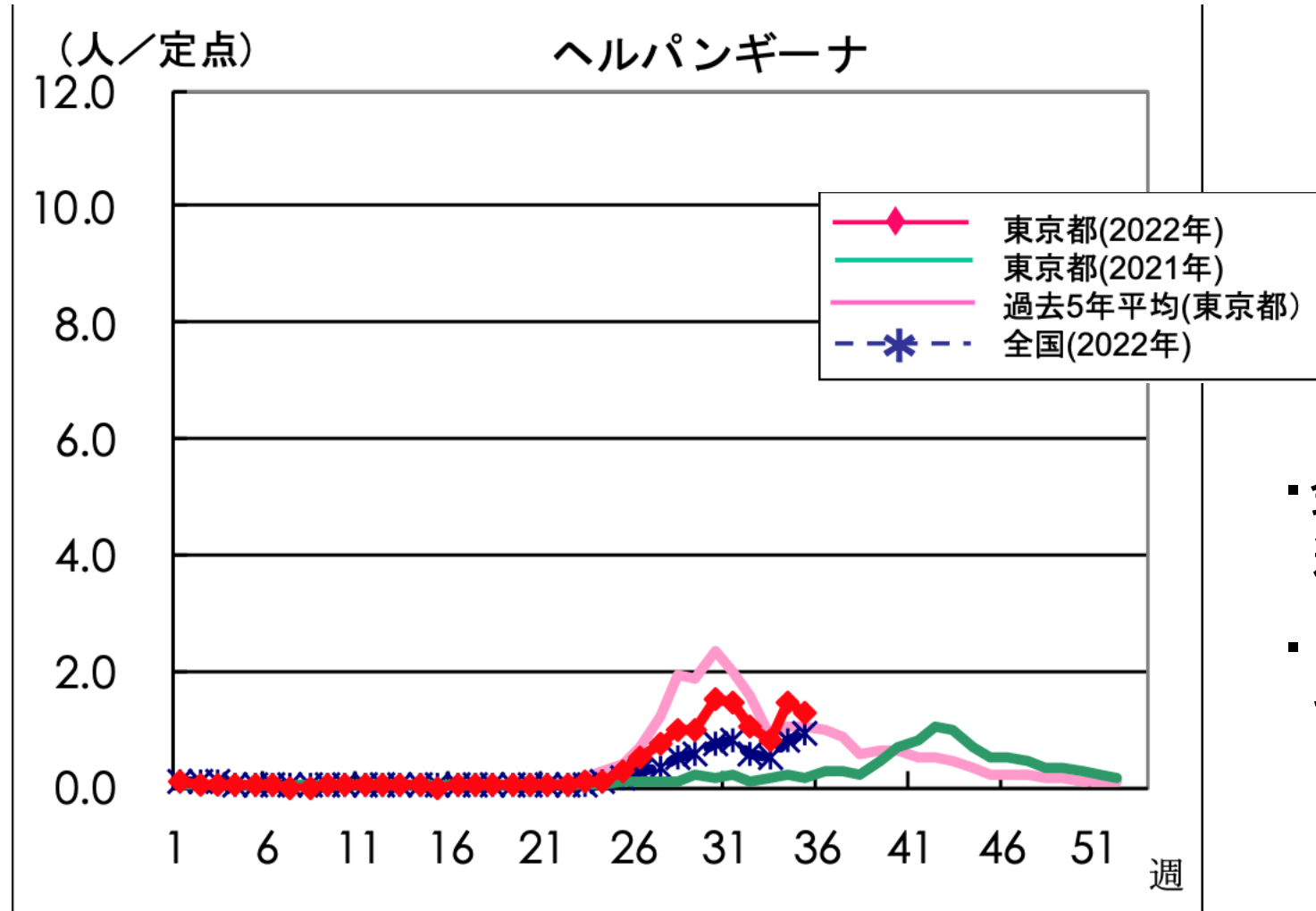
- ・多量の鼻汁と咳嗽、発熱
- ・乳児では早い経過で喘鳴、多呼吸などの下気道炎症状に移行
- ・乳児期早期では呼吸器症状が少なくても無呼吸を生じることがある。

手足口病



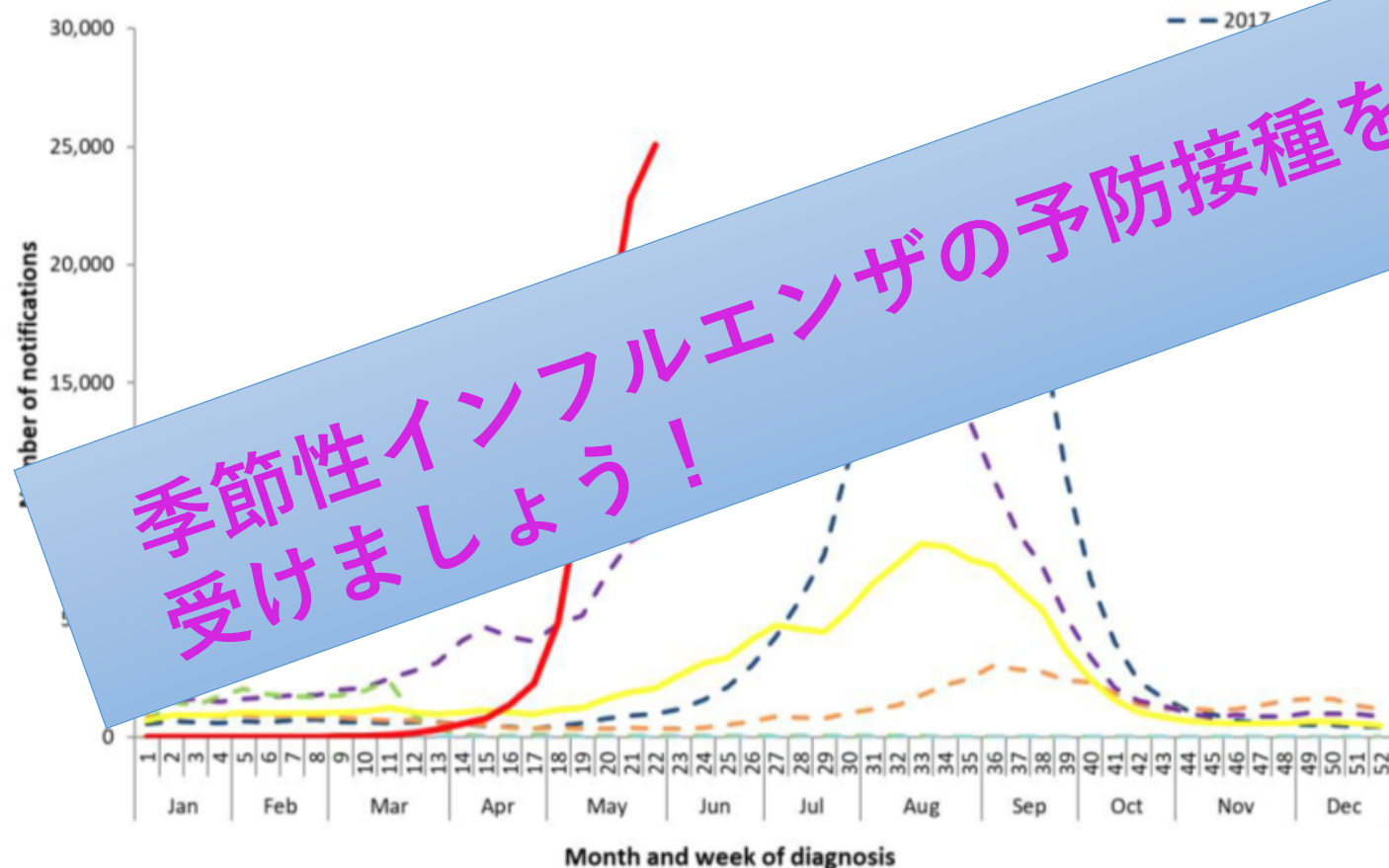
- ・口の中や手足などに、水疱性の発疹が出る。
- ・1／3に発熱を認める。
- ・ほとんどの発病者は数日のうちに治るが、稀に髄膜炎や脳炎などの合併症が出ることもある。

ヘルパンギーナ



- ・発熱、口腔内に水疱形成を伴う粘膜疹
- ・口内痛のため、飲食物を嚥下できなくなり、脱水症につながる

オーストラリアにおけるインフルエンザ検出数（2017年1月1日～2022年6月5日）



インフルエンザの検出数は、2022年4月中旬から過去5年平均を上回っている。

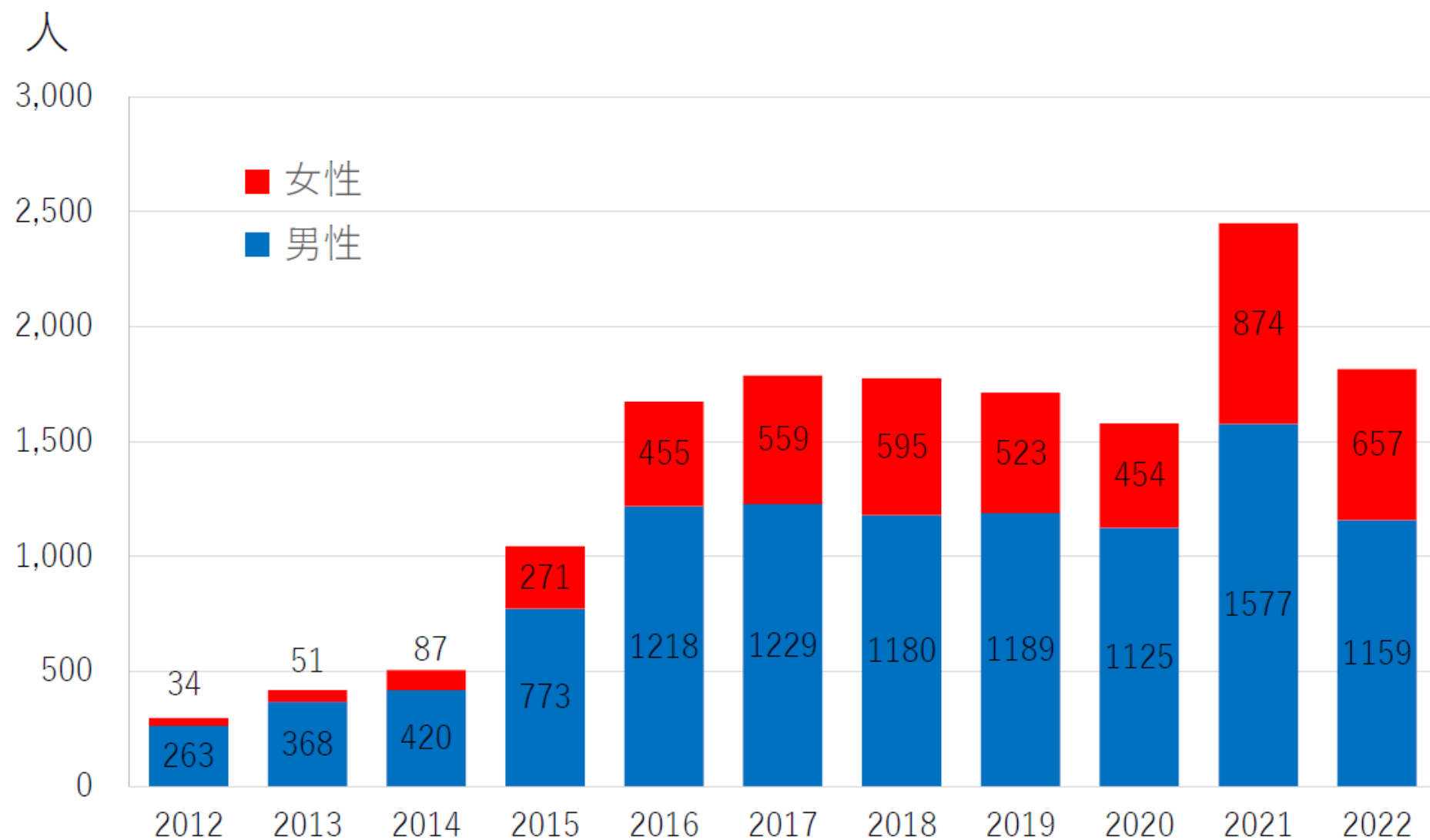
5～19歳、5歳未満の子供で検出率が高い。

- 検出されたインフルエンザのうち90%がA型で、10%は型別不明。
- A型インフルエンザの内訳
 - H3N2：4.6%
 - H1N1pdm09：0.9%
 - サブタイプ不明：94.5%

子どもが発熱した時に医療機関へ伝えて欲しいこと

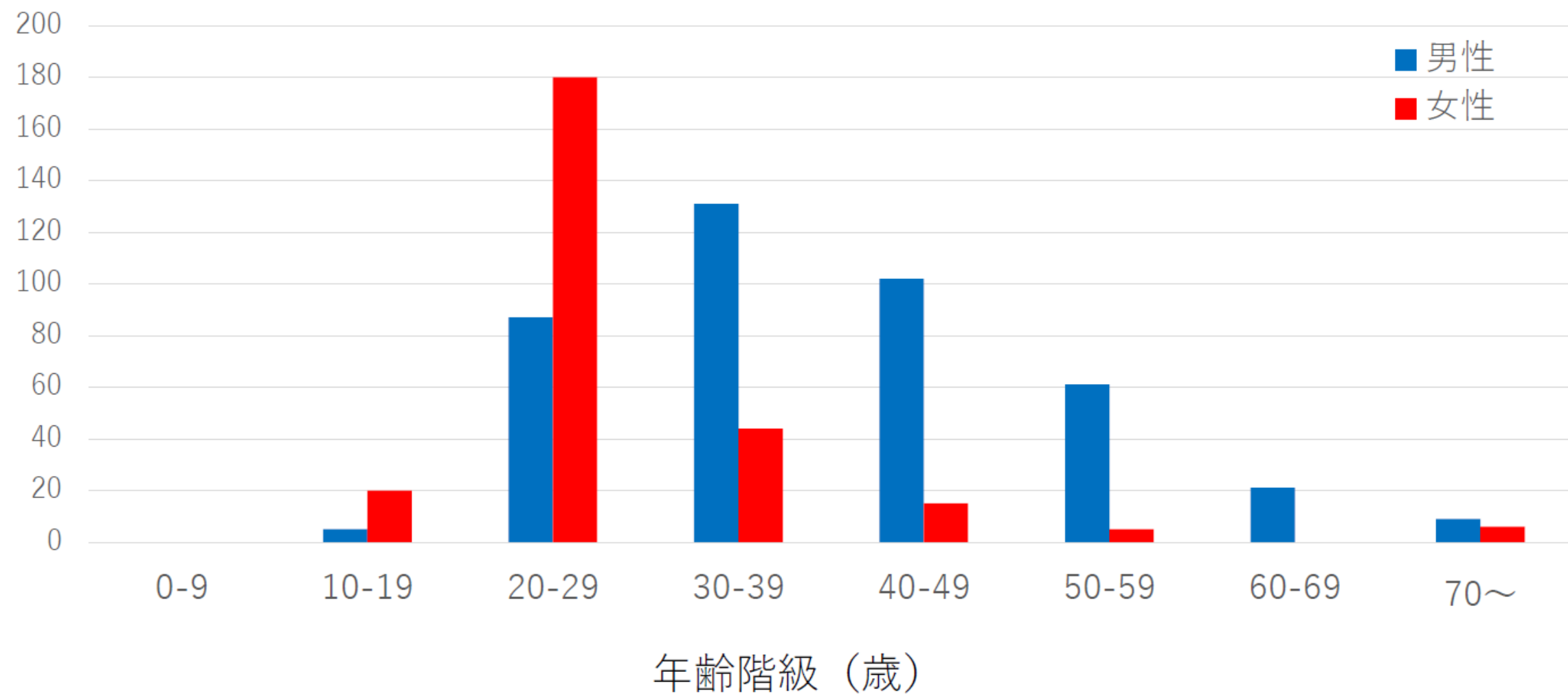
- 子どもの**年齢**(月齢)
かかりつけ医への電話なら、子どもの名前やID
- 主たる**症状**
熱、咳、鼻水、嘔吐、下痢、けいれん など
- **全身状態**
ぐったり、ぐずりがひどい、眠れない、飲めない
遊べる、笑顔がみられる、眠れる、飲める、食べられる
- 症状の**経過**・・・診察の際に必要
どの症状がいつから始まったか、悪化しているか
使った薬・・・解熱剤、鎮咳剤
かかりつけ以外を受診するときは、常用薬の情報も必要

梅毒報告数の推移 男女別 2012年～2022年28週



梅毒報告数 男女別 2022年20-28週

人



梅毒とは？

梅毒トレポネーマという細菌による感染症です。

性行為でうつります。

抗生物質で治療できます。

梅毒感染・潜伏期間（0～3週間）

1期

（3週～）

性器・肛門・口 に3mm～3cm大のできものが出現

※できものは、治療をしなくても約1ヶ月で自然に消えてしましますが、症状がなくても感染力があります。

2期

（3ヶ月～）

手のひら・足の裏・体 に赤い発疹ができます（バラ疹）

※発疹は半年以内に消えてしまいます。跡を残さずに消えてしまいます。症状がなくても感染力があります。



先天梅毒

胎盤経由で赤ちゃんも感染します。

3期

（3年～）

全身

で炎症が進行します

きちんと治療しないと、10年以上の経過で、
脳や心臓が侵されます。

4期

（10年～）

脳・心臓

に病変ができることがあります